

## 第2期石垣市地域創生総合戦略に係るパブリックコメント一覧

No.	パブリックコメント			パブリックコメントに対するコメント
	頁	項目	内 容	(事務局案)
1	38 ・ 41	社会増減に関する取組み 基本目標1 基本目標2	<p>私が住んでいる中部地区は、もの凄いスピードで過疎化が進んでいるなど日々感じています。現状は、中部地域は農地が多く、宅地が少ないため家の増加が少なく、人の増加が難しく、せっかくある公団お近頃はなぜか移動手段のない（バス停が遠い上に便数もすごく少ない）高齢者の入居など誰にとってもミスマッチな入居がみられ、とても切なくなります。（移動手段のない高齢者をこのエリアの公団に住まわすのは本当に気の毒です）過疎化が進む地域には活性化するような若い人材を優先させるような柔軟な対応も必要ではないでしょうか？中部地区は、石垣市のリーディング産業である農業や観光業においても大切なパイナップル・マンゴーなどのフルーツ・野菜などを育てている地域です。この地域が過疎で衰退することになれば石垣市の大切な稼げる産業も衰退していく事につながるのではと……。そのためにもUターン推進、移住の定着の促進の強化をお願いいたします。</p>	<p>投稿者 字登野城 女性</p> <p>頂いたご意見を踏まえ、46頁の「主要施策(3)移住・定住促進」に、次の一文を追加します。 『特に人口減少が著しい地域においては、住宅事情等の地域情報を移住相談者へ提供できるよう移住相談業務の充実に取り組みます。』 市営住宅の入居に関するご意見は、担当部署とも共有し、今後の課題として参考にしてまいりたいと思います。</p>
2	48	主要施策（1） SDGsの推進	<p>テレワークやワーケーションの推進には通信環境を今以上に整備する必要性を感じる。現段階でも雨天時などで通信が不安定となることがしばしばある。光回線の増強なしに、実現は困難と考える。施策・評価項目に追加を希望する。</p>	<p>投稿者 字白保 男性</p> <p>頂いたご意見は、50頁の「主要施策(2)デジタル化とSociety5.0の推進」の中に位置づけることとし、光回線の増強等、具体的な取り組みについては、関係部署とも共有し、参考にして参りたいと思います。 評価項目（重要業績評価指標）への追加につきましては、数値・データの収集を含め、指標設定が難しいことから、今回は見送ることとし、今後の課題として、研究してまいります。</p>

3	43	<p>主要施策(2) 更なる農林水産業の振興</p>	<p>稲作農業を推進項目に加えてください。 稲作農業は石垣島の環境を大切にして、いつまでの美しい珊瑚礁を維持する重要な農業になると思われます。</p> <p>1、水田の持つ生物多様性の維持。とくに、石垣島における冬期湛水可能な土壌特性を生かすことができる。名蔵の鳥類保護計画には田んぼ面積を少しでも広く確保することが重要になる。</p> <p>2、水田は赤土の流出の防止の役割がある。田んぼの貯水機能を利用し、上部のサトウキビや、パイナップル畑からの赤土流出を防ぐことが可能になる。総合的な循環する永続農業の構成を行う。</p> <p>3、地場産品としての泡盛の製造。すでに清福酒造で始まっている、地場産米により泡盛製造はこれからの農業の6自賛行かとして、大いに期待できるものになるだろう。農業の6次産業化として農水省の奨励するところである。全国に石垣の泡盛を出荷して行くためには地場産米に切り替えて行く必要があるだろう。</p> <p>4、地場の食材として活用。石垣島の海を守るためのお米。珊瑚米として山から海への繋がりへの要としての稲作をアピールできる。地場産品の食材でそろえることが、これからの観光には一つの価値になって行く。</p> <p>5、沖縄列島全体で田んぼが失われつつある。これは沖縄の魅力を衰退させることになる。沖縄の古典民謡でも田んぼを唄うものが多い。石垣島の田んぼの形は古い時代を彷彿とさせる魅力の溢れる水田である。田んぼをふくめた景観を維持することは、次の時代に石垣を伝える大きな農業遺産になるに違いない。</p>	<p>宇石垣 男性</p>	<p>頂いたご意見を踏まえ、43頁の「主要施策(2)更なる農林水産業の振興」に、次の一文を追加します。</p> <p>『水稻農業においては、地域内自給率向上に資するだけでなく、環境保全や景観にも大きな役割を果たしていることから、担い手不足の課題に取り組み、水田の保全に努めていきます。』</p> <p>また、具体的な提案事項につきまいては、関係部署とも共有し、各種施策を進めるにあたって参考にしてまいりたいと思います。</p>
4	43	<p>主要施策(4) 新しい観光コンテンツの創出</p>	<p>1、博物館を大浜フルトバル遺跡に建設する。日本最古の白保の人骨を展示する。2、夜市を作る。台湾を参考にして夜市を作り、舞台では伝統芸能が行われているような場所を作る。3、レストランはテラスを作るようにする。道路の使用等の条例の緩和。</p>	<p>宇石垣 男性</p>	<p>具体的な事業、施設整備につきましては、本総合戦略において定めるものではございませんが、頂いたご意見は関係部署とも共有し、各種施策を進めるにあたって参考にしてまいりたいと思います。</p>

5	44	主要施策（1） 文化・芸能の振興	伝統芸能を継続して上演する会場を市役所跡地に作る。	字石垣 男性	具体的な事業、施設整備につきましては、本総合戦略において定めるものではございませんが、頂いたご意見は関係部署とも共有し、各種施策を進めるにあたって参考にしてまいりたいと思います。
6	48	主要施策 (1)SDGsの推進	<p>私たちは八重山高等学校の1年生です。課題研究で再生可能エネルギーや地球温暖化対策について調べています。エネルギー問題は私たちの生活に大きく影響を及ぼすからです。エネルギーの供給がなくなると、市民生活は大きく混乱します。そこで自然電力さんや琉球大学元教授の清水洋一さんにインタビューを行ったところ、共通の課題点としてあげられたのは、市民の認知度の向上や市役所や企業、全市民での協力が必要ということがわきました。</p> <p>そこで社会的認知度の向上のために①省エネの取り組みを呼びかけるポスター設置。現在八重山高校では各教室に設置しています。②専門家等を招いて講演会などを開き、市民で取り組める行動を知らせることで。</p> <p>次の段階では、①再生可能エネルギー導入のモデル地区(主に太陽光発電)を作ること。宮古島ではすでに実施されています。また観光向けでは、②バリ島にあるマナーアスリーパラダイスのような循環型施設設置。循環型施設とはその土地にあった建築方法、照明は太陽光発電、水は雨水を利用し、廃水は植物などに利用するなどあらゆるものを循環させていく施設のことです。この施設を設置することで、市民がより具体的に省エネ、蓄エネ、創エネに取り組む具体的なイメージがわいてくると思います。これらの取り組みの実現には市役所、企業、地域住民の理解が必要です。なのでこれらの事を検討してみてください！</p>	高校生	<p>頂いたご意見を踏まえ、49頁の「主要施策(1)SDGsの推進」に、次の一文を追加します。</p> <p>『SDGsの推進にあたっては、行政、事業者だけでなく、市民の参加・協力が不可欠であることから、市民への普及啓発に取り組み、その機運を高めることに努めます。』</p> <p>再エネ導入モデル地区や省エネ施設の整備等、具体的な事業につきましては、本総合戦略において定めるものではございませんが、頂いたご意見は関係部署とも共有し、各種施策を進めるにあたって参考にしてまいりたいと思います。</p>